

自己評価報告書 様式

令和6年度 泰明小学校 自己評価報告書																													
学校（園）名：中央区立泰明小学校	所在地：中央区銀座5－1－13																												
校（園）長名：荒川 比呂美																													
児童（生徒）数 282名	学級数 12学級																												
教員数 18名	職員数 7名																												
1 重点目標の達成状況及び取組状況 重点目標1 思いやりの心の育成 【教員】 評価指標 A: 十分達成している B: 達成している C: 改善を要する D: 緊急に改善を要する <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 45%;">目標</th> <th colspan="4">思いやりの心の育成</th> </tr> <tr> <th>評価項目</th> <th colspan="4">言語環境の整備、規範意識の向上、豊かな人間性と社会性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-align: center;">重点目標1</td> <td>相手に応じた正しい言葉遣いや挨拶ができるようにさせましたか。</td> <td style="text-align: center;">6.7%</td> <td style="text-align: center;">73.3%</td> <td style="text-align: center;">20.0%</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> ■ A ■ B ■ C ■ D </td> </tr> <tr> <td>場をわきまえたマナーやルールを徹底し、公共マナーを身に付けさせましたか。</td> <td style="text-align: center;">66.7%</td> <td style="text-align: center;">33.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自分のよさに気付かせ、自信をもって活動に取り組ませましたか。</td> <td style="text-align: center;">26.7%</td> <td style="text-align: center;">60.0%</td> <td style="text-align: center;">13.3%</td> </tr> <tr> <td>学習活動や行事など、互いの思いや考え・立場を認め、協力して取り組ませましたか。</td> <td style="text-align: center;">13.3%</td> <td style="text-align: center;">86.7%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		目標	思いやりの心の育成				評価項目	言語環境の整備、規範意識の向上、豊かな人間性と社会性				重点目標1	相手に応じた正しい言葉遣いや挨拶ができるようにさせましたか。	6.7%	73.3%	20.0%	■ A ■ B ■ C ■ D	場をわきまえたマナーやルールを徹底し、公共マナーを身に付けさせましたか。	66.7%	33.3%		自分のよさに気付かせ、自信をもって活動に取り組ませましたか。	26.7%	60.0%	13.3%	学習活動や行事など、互いの思いや考え・立場を認め、協力して取り組ませましたか。	13.3%	86.7%	
目標	思いやりの心の育成																												
評価項目	言語環境の整備、規範意識の向上、豊かな人間性と社会性																												
重点目標1	相手に応じた正しい言葉遣いや挨拶ができるようにさせましたか。	6.7%	73.3%	20.0%	■ A ■ B ■ C ■ D																								
	場をわきまえたマナーやルールを徹底し、公共マナーを身に付けさせましたか。	66.7%	33.3%																										
	自分のよさに気付かせ、自信をもって活動に取り組ませましたか。	26.7%	60.0%	13.3%																									
	学習活動や行事など、互いの思いや考え・立場を認め、協力して取り組ませましたか。	13.3%	86.7%																										
【保護者】 （十分達成している・達成している） ○相手に応じた正しい言葉遣いをしている。 82.2%（14.5%・67.7%） ○場をわきまえたマナーやルールなど、公共マナーが身に付いている。 84.4%（14.5%・69.9%） ○自分のよさに気づき、自信をもって活動している。 78.5%（17.7%・60.8%） ○学習活動や行事など、互いの思いや考え・立場を認め、協力して取り組んでいる。 89.3%（23.7%・65.6%） 【児童】 （十分達成している・達成している） 4～6年生で実施 ○挨拶は元気にしていますか。 83.3%（47.6%・35.7%） ○ルールやマナーを守って、安全に通学していますか。 95.8%（70.6%・25.2%） ○友達と仲良く生活していますか。 94.4%（65.0%・29.4%） ○学校の行事は、楽しいですか。 93.0%（61.5%・31.5%） 〈評価項目〉 ①規範意識の向上のため、言語環境を整備し、挨拶の励行と登下校の安全や公共のマナーを徹底する。 ②児童に自己肯定感や他者意識をもたせるために、支持的風土を醸成し、意図的・計画的に活躍の場を設ける。 ③多様な価値観を受容・尊重できるように、道徳授業の充実を図り、他者と協働して取り組む活動や異年齢での交流活動を推進する。																													

①の挨拶や言葉遣いについては、教員・保護者・児童共に、8割以上が肯定的評価をしている。しかし、公共のマナーについては 教員の約7割が肯定的評価であるのに対し、保護者の肯定的評価は約8割、児童は9割以上であり、回答状況にズレが見られる。日常的にバスや電車の乗車についてのクレームが入り、対応している状況が続いている。学校でも継続的に指導を繰り返しているが、家庭でも公共交通機関の利用の仕方について考えてもらう機会になればという願いを込めて、クレームの内容を配信することとした。また、教員や PTA のバス当番を継続して行っていく。

②については、教員・保護者の肯定的評価は、約8割である。学校生活全般において、充実感を味わいながら、友達との関わり合いを楽しむ児童の姿が見られる。しかし、自由記述で、少数だが友達と良い関係が築けず、教員に援助を求めている児童もいることが分かる。担任は対象児童に継続した支援を行うとともに、日頃から全教員で児童を見守り、トラブル等の情報共有を図る必要があると考える。

③については、全教員が肯定的評価をし、保護者は約9割が肯定的評価である。日常的に縦割り班清掃を行うことで、異学年の知り合いが増え、高学年に憧れる低学年の姿も見られる。また様々な行事を経験することは、友達と協力することや相手との考えの違いを受け入れることの大切さを学ぶ機会となっている。

重点目標 2 確かな学力の定着と学習意欲の喚起

【教員】

評価指標 A:十分達成している B:達成している C:改善を要する D:緊急に改善を要する

目標	確かな学力の保障と学習意欲の喚起			
評価項目	基礎基本の定着、学習意欲の向上、ICTの活用、習熟度・課題別に応じた授業展開			
重点目標2	学習習慣を定着させ、自らすすんで課題に取り組むようにさせましたか。	21.4 %	71.4 %	7.1 %
	基礎基本の定着のために授業規律を徹底し、教材教具などの教育環境を整えましたか。	28.6 %	57.1 %	14.3 %
	ICTを活用した授業などで、意欲をもって学習に取り組ませましたか。	21.4 %	64.3 %	14.3 %
	習熟度・課題別に応じた授業展開を工夫し、学習内容を理解させましたか。	7.1 %	50.0 %	42.9 %

【保護者】 (十分達成している・達成している)

○学習習慣が定着し、自らすすんで課題に取り組んでいる。

75.3 % (17.2 %・58.1 %)

○授業規律を守り、基礎的・基本的な学習内容を理解している。

90.4 % (25.3 %・65.1 %)

○タブレットの活用により、意欲をもって学習に取り組んでいる。

72.6 % (20.4 %・52.2 %)

○習熟度、課題別に応じた授業により、学習内容が理解できている。

82.2 % (20.4 %・61.8 %)

【児童】 (十分達成している・達成している) 4～6年生で実施

○学習では、知っていること・分かっていることを使って、すすんで考えましたか。

92.3% (55.9%・36.4%)

○授業の内容はよく分かりますか。

95.1% (64.3%・30.9%)

〈評価項目〉

①基礎・基本の定着のために、授業規律の徹底と教材・教具の整備、教育環境の充実を図る。

②学習意欲向上のために、ICTを活用した学習満足度の高い授業づくりや課題別・習熟度別に応じた授業展開の工夫をする。

①の基礎基本の定着については、教員は8割以上、保護者は9割以上が肯定的な評価をしている。4年生から6年生が行った区の学習力サポートテストでは、国語・算数は基礎領域の正答率が8割以上であった。しかし、社会・理科については、正答率が8割に届かず、6年生の理科については、正答率が7割以下であった。理科では、実験方法を考えさせたり、試行錯誤する場面を経験させたりすることで、科学的な視点をもたせていく。

また、授業規律の徹底については、教員が8割以上、保護者が8割以上肯定的評価をしている。今年度は授業規律の徹底に課題があり、2学期には、「学習のやくそく」を作成し、児童に指導するとともに、保護者にも配信した。教員も「学習のやくそく」を意識して授業を行い、児童の変容が見られてきていることから、肯定的評価につながったのではないかと考えられる。

②のICTを活用した授業についての肯定的評価は、教員が9割以上に対して保護者が7割以上と開きがある。家庭学習で「ミライシード」やタイピング練習に取り組ませる機会は増加している。ICTを活用した授業については、全教員が様々な場面で活用できるよう定期的に研修会を実施している。また、ICT支援員の活用も継続して行い、授業支援や具体的な活用事例を紹介してもらうことで、多くの教科でタブレットを活用した授業を実施するという変化が見られた。今後も教員間の情報共有を行いながら、活用を推進していく。

重点目標3 健康づくりの推進

【教員】

評価指標 A:十分達成している B:達成している C:改善を要する D:緊急に改善を要する

目標	児童の健康づくりの推進				
評価項目	健康教育の推進、運動環境の整備、マイスクールスポーツの推進				
重点目標3	保健指導や食育指導を通し、基本的な生活習慣を確立させましたか。	20.0%	80.0%		
	マイスクールスポーツ(持久走)を通し、目標に向け、継続的に取り組ませましたか。	6.7%	80.0%	13.3%	
	秦明タイムの継続的な取り組みなどで、体力向上を図りましたか。	33.3%	66.7%		
	外遊びを奨励し、積極的に運動させたり、体づくりをさせたりしましたか。	40.0%	60.0%		

【保護者】 （十分達成している・達成している）

○早寝早起きや食生活など基本的な生活習慣が身に付いている。

83.3%（24.2%・59.1%）

○目標に向け、泰明タイムや持久走など積極的に運動に取り組んでいる。

79.6%（22.6%・57.0%）

○積極的に外遊びをし、体づくりをしている。77.9%（24.7%・53.2%）

【児童】 （十分達成している・達成している）

○健康に気をつけて、運動や正しい食生活をしていますか。

85.4%（49.0%・36.4%）

○自分の体力づくりに取り組んでいますか。84.0%（43.4%・40.6%）

〈評価項目〉

①基本的な生活習慣の確立のために、保健講話や保健指導、食育指導を充実する。

②体力向上のために、泰明タイムの継続的な取り組みや学習カードを活用し、マイスクールスポーツ（持久走）の推進を図る。

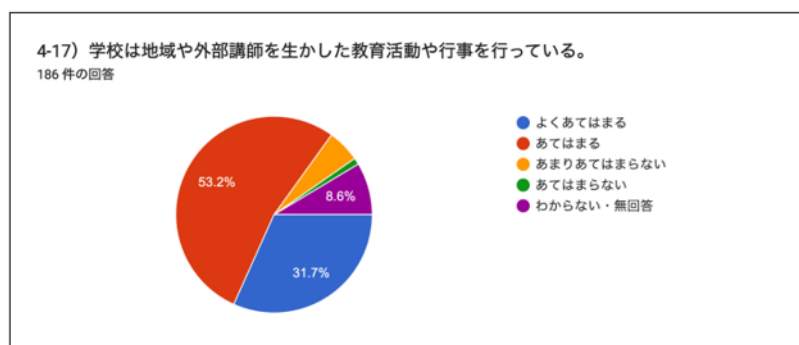
①の基本的な生活習慣については、教員・保護者・児童それぞれが8割以上、肯定的評価をしている。本校の特色として、学校医による保健講話を月1回継続して実施している。また、食育に関する授業を低学年から行っていることから、児童一人一人が心と体の健康について正しい認識を高め、実践につなげていくことができる。

②の体力向上については、休み時間に校庭・小公園・体育館・屋上で思い切り体を動かしている児童が多いことから、全教員が肯定的評価をしている。運動習慣を身に付けるための泰明タイムや泰明マラソンに向けて取り組むマイスクールスポーツの持久走を行う体育朝会等、体力向上に向けた取り組みについては、8割以上の教員が肯定的評価をしている。今年度の「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」では、ほとんどの種目で全国平均値を上回っている。

2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

○地域や外部講師の活用について

【保護者アンケート】

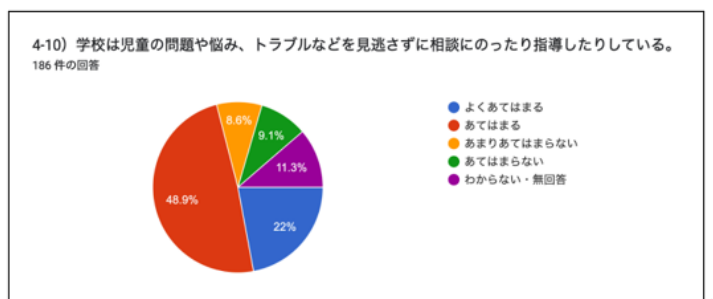


▲ よくあてはまる 59 (31.7%) あてはまる 99 (53.2%) あまりあてはまらない 10 (5.4%) あてはまらない 2 (1.1%) 分からない 16 (8.6%)

保護者の8割以上が肯定的評価をしている。本校は、銀座にある学校として、地域の方が教育活動に協力的である。店舗や施設で体験活動をする「銀座街探検」、銀座の画廊を少人数で訪問する「画廊巡り」、銀座の柳を使う「柳草木染め」など、本物に触れ、そこから学びにつなげていく教育活動を計画的に取り入れている。約1割の保護者が「わからない・無回答」なので、tetoru や Classroom を利用して情報を発信していく。

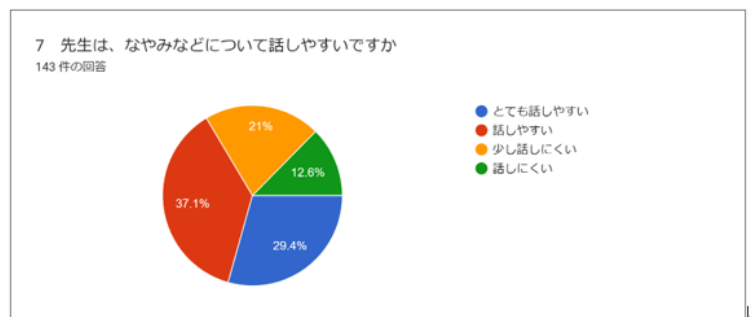
○児童の悩みへの対応について

【保護者アンケート】



▲ よくあてはまる 41 (22.0%) あてはまる 91 (48.9%) あまりあてはまらない 16 (8.6%) あてはまらない 17 (9.1%) 分からない 21 (11.3%)

【児童アンケート】



▲ とても話しやすい 42 (29.4%) 話しやすい 53 (37.1%) 少し話しにくい 30 (21.0%) 話しにくい 18 (12.6%)

保護者アンケートの「学校は児童の相談にのったり、指導したりしている」の回答では、約2割の保護者が否定的な回答をしている。また、児童アンケートの「先生は、なやみなどについて話しやすいか」の回答では、約3割の児童が否定的な回答をしている。

学級担任だけで対応するのではなく、状況に応じて全教員、スクールカウンセラーで対応していく。日頃から教員間での情報共有は行っているので、児童の気持ちに寄り添い、解決に向けて今後も支援していく。

3 今後の改善方策

○公共交通機関の乗車マナーについて

- ・年度当初に、「バス・電車利用に関する確認書」を提出してもらい、利用する交通機関の確認及び乗車マナーの再確認をする。
- ・学校にクレームがきたら、学校でも指導をするが、tetoruでクレームの内容を配信し、家庭でも公共交通機関の利用についての意識を高める。